

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	公衆便所維持補修事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境政策課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	02 清潔で美しい環境をつくる	項	01 保健衛生費
期間	～ 永年	目	03 環境衛生費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	010 環境衛生事業
地区別	その他		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	いずれのトイレも、駅利用者、周辺住民に利用されており、公衆衛生に役立っている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
公衆便所 (3箇所: 篠原町、JR厄神駅、JR神野駅)	公衆便所 (3箇所) の清掃を委託する。また、必要に応じて修繕等を行う。	年間を通じて公衆便所を清潔に保つ。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		2,706	2,840		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 公衆便所に対する設置要望が存続する限り、経費の削減は難しいと考える。
--

※事業費と財源内訳

決算額	2,840	内訳	国費	県費	市債	他	4一般	2,836
-----	-------	----	----	----	----	---	-----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	犬の登録・猫引取り事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境政策課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	02 清潔で美しい環境をつくる	項	01 保健衛生費
期間	～ 永年	目	03 環境衛生費
事業区分	④義務的施策事業	細目	005 犬の登録・猫引取り事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	狂犬病予防法		

【現状と課題】

現状と課題	国内における狂犬病の発症例が皆無であり、飼い主に危機感がないため、予防注射の接種率は横ばい傾向にある。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
市に登録のある犬の飼い主	犬の飼い主に狂犬病予防注射の案内通知を送付する。4月には市内の公園や公民館等へ獣医師とともに出向き、巡回による予防接種を実施する。年度の後半には未接種犬の飼い主に接種催促状を送付する。一年を通じて獣医師会に予防接種に関する事務を委託する。	高齢者や動物病院の少ない地域に住む住民に配慮し、巡回による予防接種を実施することで利便性の向上を図る。また、接種催促状を送付することにより、狂犬病予防注射接種率の向上を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円	3,668	3,430	3,262		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
犬の登録業務等については、狂犬病予防法に基づく業務であり、継続して実施する必要がある。また、猫の引き取り業務についても、県からの委託金を受けての業務であり、確実に事務処理を行っていく必要がある。	

※事業費と財源内訳

決算額	3,262	内訳	国費	県費	8	市債	他	3,254	一般
-----	-------	----	----	----	---	----	---	-------	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	環境衛生事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境政策課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	02 清潔で美しい環境をつくる	項	01 保健衛生費
期間	～ 永年	目	03 環境衛生費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	010 環境衛生事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	保健衛生の推進を図っているが、ごみ減量化や保健衛生のさらなる推進に向けた取り組みが必要となっている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
加古川市保健衛生協議会	補助金を交付する。	健康水準の向上と保健衛生の推進を図る。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
単位町内会・自治会	町内会・自治会		321	321		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
保健衛生協議会運営予算額	円		7,670,000	6,623,000		

活動指標分析結果	保健衛生協議会に対して補助金を支出することは適正である。				
事業費	千円		1,512	1,297	

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
保健衛生協議会運営決算額	円			6,000,000	7,000,000	平成27年度
			6,980,044	5,064,615		

成果指標分析結果	事業内容や予算の執行状況に応じ、ある程度の減額は可能であると考え。
----------	-----------------------------------

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地あり
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
ごみ分別の徹底、ごみ減量の推進、ごみ集積場の環境保持などの観点から、保健衛生協議会への補助は、今後も継続して行う必要があると考える。

※事業費と財源内訳

決算額	1,297	内訳	国費	県費	市債	他	一般	1,297
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	環境美化キャンペーン事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	02 清潔で美しい環境をつくる	項	02 清掃費
期間	平成16年度～永年	目	01 清掃総務費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	010 環境美化推進事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	ポイ捨て禁止条例や日頃からの美化活動の成果により、美化キャンペーン実施地域においては、一定の成果が見られるようになった。また、アダプトプログラムについては、高齢化等による理由から活動を停止する団体もある。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
市民・町内会	①アダプトプログラム登録制度を実施し、活動団体を支援する。②美化キャンペーンを実施し、美化活動推進の啓発を行う。	市民の環境美化への意識向上				
対象指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
加古川市人口(10/1付推計人口)		人		268,390	268,053	
単位町内会・自治会		町会・自治会		321	321	
活動指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
アダプトプログラム登録団体数		団体		39	39	45
美化キャンペーン参加者数		人		800	850	800
町内会一斉清掃実施団体		団体		210	218	210
活動指標分析結果	アダプトプログラム登録団体数は増減が無く、普及啓発を行い参加団体を増やす必要がある。美化キャンペーンを見直し、町内等で実施する清掃活動への支援としてごみ袋の支給、ごみ鉢の貸出しを実施予定。					
事業費		千円		260	431	
成果指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
町内会一斉清掃回数		回			450	500 平成30年度
				450	456	
成果指標分析結果	地域美化のPR等により、地域の美化意識の高揚に繋がっており一斉清掃の実施回数が安定したものとなっている。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
市民ボランティア団体への側面的支援により、地域コミュニティを図りながら美化活動への意識向上に貢献していると考えられる。しかしながら、美化キャンペーンについては、対象地域に偏りがあり、全市を対象とする施策が必要と考える。	

※事業費と財源内訳

決算額	431	内訳	国費	県費	市債	他	一般	431
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	不法投棄対策事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	02 清潔で美しい環境をつくる	項	02 清掃費
期間	平成14年度～永年	目	01 清掃総務費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	010 環境美化推進事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	不法投棄問題が年々増加しているなかで、ごみの適正処理に対する市民の意識の啓発や快適な生活環境の保持のため、事業を継続する必要性が高いと考えている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)		意図(どのような状態にする)			
市域全体	●不法投棄防止看板の作成・設置 ●巡回パトロール ●不法投棄物の収集		看板の設置やパトロール等を行うことにより、不法投棄を抑制する。			
対象指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
不法投棄発見件数		件	190	196	231	
活動指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
不法投棄受理件数		件	190	196	231	200
不法投棄物回収量		kg	20,470	16,980	16,540	20,000
防止看板設置枚数		枚	12	8	19	50
活動指標分析結果	平成25年度の不法投棄受理件数231件は、直近6カ年の平均不法投棄受理件数190件と比較し増加している。26年度については頻発する地域を集中してパトロールを行うように改善する。					
事業費		千円	1,599	1,550	1,170	
成果指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
不法投棄解消率		%		100	100	100
上段:計画値/下段:実績値			100	100	100	
不法投棄回収率		%		100	100	100
上段:計画値/下段:実績値			100	100	100	
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	清潔で美しい環境づくりのため、不法投棄解消率及び回収率は全量回収の100%を目指すべきであり、妥当なものと考えている。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事業
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
不法投棄事案については、市民が自己解決することが困難であり、本事業によって対応せざるを得ない状況と考える。投棄件数の推移を勘案してパトロールの回数、ルート選定の見直し等の改善は必要である。	

※事業費と財源内訳

決算額	1,170	内訳	国費	県費	市債	他	一般	1,170
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	し尿終末処理施設管理運営事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	02 清潔で美しい環境をつくる	項	02 清掃費
期間	昭和55年度～ 永年	目	07 し尿処理施設費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	005 し尿終末処理管理事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	投入施設から発生する悪臭について、活性炭を利用して悪臭対策を行っており、問題はない。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
尾上処理工場	事業予算を有効に活用し、尾上処理工場の効率、適正な管理運営を行う。	市内で発生する、し尿、浄化槽汚泥を加古川下流浄化センターに投入するため、加古川下流浄化センターの受入れ基準に合うよう施設の維持管理を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円	315	453	247		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
平成13年度から加古川下流浄化センターにし尿及び浄化槽汚泥の全量処理委託を行い、維持管理の効率化とし尿及び浄化槽汚泥の適正な処理を行っている。

※事業費と財源内訳

決算額	247	内訳	国費	県費	247	市債	他	一般
-----	-----	----	----	----	-----	----	---	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	し尿収集管理事業に要する一般的経費		
部局名	環境部	課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政 策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施 策	02 清潔で美しい環境をつくる	項	02 清掃費
期 間	昭和34年度～ 永年	目	06 し尿処理費
事業区分	①一般事務経費事業	細 目	005 し尿収集管理事業
地 区 別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	し尿くみ取りの世帯数は、公共下水道の普及及び合併処理浄化槽の設置により減少傾向にある。平成25年度は7,488世帯（直営及び委託収集対象）。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象（だれ・何に対して）	手段（どういった方法で）	意図（どのような状態にする）				
加古川市一般廃棄物処理基本計画に基づき、し尿くみ取り便槽から排出されるし尿の収集運搬を必要とする者。	家庭等から排出されるし尿の量に対して、し尿処理手数料の賦課徴収を行う。	し尿処理手数料の賦課徴収を行うことにより、し尿収集事業を適正に執行し、生活環境の保全及び公衆衛生の確保を図る。				
対 象 指 標	単 位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活 動 指 標	単 位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事 業 費	千円		1,264	1,130		
成 果 指 標	単 位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】（妥当性・有効性・効率性の視点から評価）

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】（上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価）

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	し尿収集世帯は、下水道整備計画の進捗状況及び合併処理浄化槽の設置状況により減少するが、完全に無くなるまでは引き続きし尿収集業務を実施しなければならないため。
--	--

※事業費と財源内訳

決算額	1,130	内訳	国費	県費	市債	他	一般	1,130
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	し尿収集事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	02 清潔で美しい環境をつくる	項	02 清掃費
期間	昭和34年度～永年	目	06 し尿処理費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	010 し尿収集事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		

【現状と課題】

現状と課題	し尿くみ取りの世帯数や浄化槽の設置数は、公共下水道の普及により減少傾向にある。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
加古川市一般廃棄物処理基本計画に基づき、し尿くみ取り便槽から排出されるし尿の収集運搬を必要とする者。	し尿収集登録世帯の内、直営により担当地域のし尿収集・運搬を適正に実施する。	家庭等から排出されるし尿を適正(定例的・効率的)に収集・運搬する事で公衆衛生を確保する。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円	10,254	8,554	8,095		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
し尿収集量は減少しているが、し尿くみ取り世帯にとって必要性は変わっていない。

※事業費と財源内訳

決算額	8,095	内訳	国費	県費	市債	他	8,095	一般
-----	-------	----	----	----	----	---	-------	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	し尿終末処理施設維持補修事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	02 清潔で美しい環境をつくる	項	02 清掃費
期間	昭和55年度～永年	目	07 し尿処理施設費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	010 し尿終末処理施設維持補修事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、浄化槽法、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	平成7年から一部、加古川下流浄化センターにし尿及び浄化槽汚泥投入処理を行い、平成13年度から全量投入処理を行って現在に至っている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)			
尾上処理工場	尾上処理工場の設備等の保守点検、整備を行い処理機能の維持及び運転管理をする。	し尿、浄化槽汚泥の前処理を行い、加古川下流浄化センターの、し尿・浄化槽汚泥の受入れ基準に適合するよう、施設の処理機能の維持を図る。			
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外					
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外					
事業費	千円	53,640	54,321	54,092	
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
昭和55年度に竣工し、現在もし尿・浄化槽汚泥の投入施設等は運営しているが、老朽化が進んでいる。

※事業費と財源内訳

決算額	54,092	内訳	国費	県費	市債	他	3,200	一般	50,892
-----	--------	----	----	----	----	---	-------	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	し尿終末処理事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	02 清潔で美しい環境をつくる	項	02 清掃費
期間	平成7年度～永年	目	07 し尿処理施設費
事業区分	④義務的施策事業	細目	010 し尿終末処理施設維持補修事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、浄化槽法、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	尾上処理工場の施設を解体することなく、加古川市域から発生するし尿、浄化槽汚泥を受け入れ、加古川下流浄化センターへの投入処理が可能となった。このため、尾上処理工場の解体工事を行っていないので、周辺環境に負荷をかけることなく現在に至っている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)
加古川市域から発生するし尿・浄化槽汚泥。	尾上処理工場に集められた、し尿・浄化槽汚泥を加古川下流浄化センターに投入し、し尿等の適正処理を行う。	市単独でし尿・浄化槽汚泥を適正処理するため、処理施設を建設、運営することと比較して、加古川下流浄化センターに処理委託するほうがコストがからない。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外				

活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						

事業費	千円	160,949	152,725	146,349

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	
2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
有効性	評価	
5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	評価	
9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
老朽化した施設の延命化を図る必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	146,349	内訳	国費	県費	市債	他	一般	146,349
-----	---------	----	----	----	----	---	----	---------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	し尿収集運搬業務委託事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	02 清潔で美しい環境をつくる	項	02 清掃費
期間	昭和42年度～永年	目	06 し尿処理費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	005 し尿収集管理事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	公共下水道及び合併処理浄化槽の普及によりし尿収集登録世帯数は減少傾向にある。平成26年4月1日現在でのくみ取り世帯数においては、委託対象は4,347世帯、直営対象は2,912世帯、全体で7,259世帯である。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
加古川市一般廃棄物処理基本計画に基づき、し尿くみ取り便槽から排出されるし尿の収集運搬を必要とする者。	加古川市一般廃棄物処理基本計画に基づき、し尿収集登録世帯の内、し尿収集運搬業務委託による委託区域のし尿収集・運搬を適正に実施する。	家庭等から排出されるし尿を適正(定例的・効率的)に収集・運搬する事で生活環境の保全及び公衆衛生の確保を図る。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
し尿収集登録世帯数	世帯		7,827	7,488		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
し尿収集運搬業務委託業者数	社		9	9		

活動指標分析結果	し尿収集世帯は、下水道整備及び合併処理浄化槽の設置により減少傾向にあるが、完全に無くなるまでは引き続きし尿収集業務を実施しなければならず、適正かつ効率的な事業執行を行う。		
事業費	千円	105,095	102,425

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
委託によるし尿収集世帯数	世帯			4,496	4,160	平成27年度
			4,686	4,483		

成果指標分析結果	公共下水道及び合併処理浄化槽の普及により、し尿収集世帯数は減少傾向にある。
----------	---------------------------------------

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事業
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握する必要がない/義務的事業
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地あり
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
廃棄物処理法第6条の2により、一般廃棄物処理計画に従い、適正に事業執行を行う。なお、し尿収集世帯は、下水道普及の整備及び合併処理浄化槽の設置により減少するが、完全に無くなるまでは引き続きし尿収集業務を実施しなければならないため、事業の方向性は維持判定としている。

※事業費と財源内訳

決算額	102,425	内訳	国費	県費	市債	他	一般	102,425
-----	---------	----	----	----	----	---	----	---------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	合併浄化槽設置補助事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	02 清潔で美しい環境をつくる	項	02 清掃費
期間	平成18年度～平成29年度	目	06 し尿処理費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	015 合併浄化槽設置補助事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	加古川市浄化槽設置整備補助金等交付要綱		

【現状と課題】

現状と課題	市内における単独処理浄化槽は、平成18年8,611件から平成23年6,603件(4月1日現在)に減少している。今後、生活環境の改善と公共水域の水質保全をより推進するため、合併処理浄化槽の設置をさらに促進する必要がある。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
加古川市生活排水処理計画で、公共下水道、農業集落排水処理施設で排水処理することとされている地域以外の地域で、住宅に10人槽以下の浄化槽を設置しようとする者及び合併処理浄化槽を設置するため改造工事を行う者。	設置する合併処理浄化槽の人槽に応じて5人槽45万円～10人槽90万円の補助金を、汲取りから合併処理浄化槽への改造工事は5万円、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への改造工事は2万5千円の助成金を交付する。	合併処理浄化槽の設置を促進し、生活環境の改善と公共水域の水質保全を推進する。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度
公共下水道・農業集落排水処理施設対象区域外の住	人	29,226	29,175	27,376

活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
合併処理浄化槽設置補助申請件数	件	16	13	14	80	平成29年度

活動指標分析結果	広報等での周知PRにより問合せも増加し、補助金制度の周知は図られていると考えるが、より推進していくためには新たな周知PRも必要になると考える。
----------	---

事業費	千円	8,956	7,148	7,460
-----	----	-------	-------	-------

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
合併処理浄化槽設置補助交付件数(累計)	件			294	356	平成29年度
上段:計画値/下段:実績値		263	276	290		

成果指標分析結果	市内の合併処理浄化槽の設置補助については、循環型社会形成推進地域計画に基づき平成25年度～平成29年度に80基の交付金補助申請を予定しており、目標値に向かって申請件数は増えている。なお、成果指標値は、H18年度からの累計基数。
----------	---

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	一部適正でなく、早急に見直す必要がある

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
成果指標である平成18年度からの合併処理浄化槽設置補助件数の累計は増加しているが、平成25年度から平成29年度の新たな目標達成に向け、広報、ホームページ等により市民や設置業者へ積極的にPRを図っていく必要がある。	

※事業費と財源内訳

決算額	7,460	内訳	国費	1,686	県費		市債		他		一般	5,774
-----	-------	----	----	-------	----	--	----	--	---	--	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	し尿収集車両購入事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	02 清潔で美しい環境をつくる	項	02 清掃費
期間	昭和34年度～永年	目	06 し尿処理費
事業区分	⑦投資事業	細目	020 し尿収集車両購入事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		

【現状と課題】

現状と課題	し尿くみ取りの世帯数や浄化槽の設置数は、公共下水道の普及により減少傾向にある。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
加古川市一般廃棄物処理基本計画に基づき、し尿くみ取り便槽から排出されるし尿の収集運搬を必要とする者。	し尿収集登録世帯の内、直営による担当地域のし尿収集・運搬を適正に実施する。	家庭等から排出されるし尿を適正(定例的・効率的)に収集・運搬する事で公衆衛生を確保する。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
し尿収集登録世帯数	世帯		7,827	7,488		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
直営担当し尿収集世帯	世帯		3,141	3,005		

活動指標分析結果	下水道整備の進捗、合併処理浄化槽設置にともない、直営担当し尿収集世帯は減少している。				
事業費	千円		6,672	6,675	

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
し尿収集量	k l			9,430	8,670	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			9,890	9,416		
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	下水道整備の進捗、合併処理浄化槽設置にともない、し尿収集量は減少している。
----------	---------------------------------------

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事業
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が中程度/義務的事業
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握する必要がない/義務的事業
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地あり
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 し尿収集量は減少しているが、し尿くみ取り世帯にとって必要性は変わっていない。
--

※事業費と財源内訳

決算額	6,675	内訳	国費	県費	市債	4,900	他	一般	1,775
-----	-------	----	----	----	----	-------	---	----	-------